

北見武道通信

令和6年3月14日 00682号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】野付半島でチカ釣り！

当武道事務所に来る安代正治さん(84)からチカを頂きフライで食べたところ、とても美味しく驚きました。安代さんの釣り仲間の佐藤修治さん(79)は先週、野付半島のナラワラ(湾内)で1,000匹以上もチカを釣りあげました。



佐藤さんは安代さんの魚釣りの師匠的存在で、頂いたチカも一緒に行った時のものです。野付半島は北見市から車で約3時間、28kmに及ぶ日本最大の半島(砂嘴)です。オホーツク海はいま時期、チカ釣りが盛んにおこなわれています。早朝5時には釣人が厚い氷に専用のドリルで穴をあけ、釣りを楽しむといいますが、中には200匹を釣りあげ喜ぶ姿も見かけられるようですが、1,000匹以上も釣り



上げる人は佐藤さんしかいないと安代さんは云います。〈佐藤〉

小さなお客様！柴田桜好ちゃんと仲良し小吉

北見練心会で柔道を習う長屋晴くん(小5)樋渡悠斗くん(小3)柴田一誠くん(小4)は柴田桜好ちゃんと仲良しで、柔道の練習が終わると仲良くいつも一緒に帰っていきます。その時には必ず手を振ってあいさつをしてくれます。〈佐藤〉

武道振興協会事務局の花シリーズ



「シクラメン」 昨年は水をやりすぎて、ヒョロヒョロと首長シクラメンになってしまいました。今年は水やりを我慢して成功しました。〈幸〉

連載 中国「老子」の思想 二十四章 功を誇るものは功を失う 高くなろうとして爪先で立てば、かえって足もとが定まらぬ。遠くへ行こうとして大股で歩けば、かえって足がはかどらぬ。不自然な作為は、長続きせぬものだ。自己を知者とみなす者は、知者ではない。自己を是(ぜ)とする者は、是ではない。自己の功を誇る者は、功を失う。自己を有能とみなす者は、有能ではない。自然を離れて作為する者は、物の法則の一面しか捉(とら)えていない。これらはみな、「道」から見れば役立たずである。「道」を体得した者は、そういう一面的な立場を取らない。原文：企者不立。跨者不行。自見者不明。自是者不彰。自伐者无功。自矜者不长。其於道也、曰餘食贅行。物或惡之。故有道者不処。 二十五章に続く